



代っ子通信

令和7年5月19日

<第7号>

校長 平塚智康

体験を通して体全体で学ぶ～5年生田植え～

5月9日、中代町の山口さんの田んぼをお借りして、5年生の田植えが行われました。はじめに、苗を植える場所の目印をつけるための枠回しのやり方を教えていただき、5年生の代表の児童が枠回しをしました。つぎに、苗の植え方を教えてもらい、いよいよ、みんなで田んぼの中へ。

おそるおそる田んぼへ足を入れ、苗を3本ずつ、ていねいに植えていきます。「キャ～」中には悲鳴をあげる子どもたちも・・・。徐々に、田んぼの中を歩くのにも慣れ、苗を植えるコツをつかんでいきます。中には、枠回しでつけた目印に、「田植え、楽しい～」と言いながら、手際よく苗を植えていく子どもたちもいます。しかし、中には、田んぼの泥に足を取られて、尻もちをつきそうになる子どもたちもいます。子どもたちは田植え体験を通して、体全体を使って、米作りについて学んでいました。



5年 ○○ ○○

田植えをしている時は、こしがいたくてどろがべちょべちょしていたのでつかれました。けど、と中からは楽しくなってきました。体験前は、「田んぼは広いなあ」「大変かなあ」と思っていましたが、じっさいやってみると大変でした。

田植えが終わってしつもんコーナーの時に、昔の人は20人くらいでたくさんの田んぼの田植えをしていたと聞いて、すごいなあと思いました。昔の人はこんなに苦労して田植えをしていたんだなあと分かりました。私たちの田植えが終わった後に、山口さんが田んぼに苗を植える機械ですぐに植えていたのがすごかったです。

次は、9月にいねかりなので、田植えとどのようにちがうのか気になります。今まででは、何事もなくふつうにごはんを食べていたけど、これからは感謝してお米を食べ、お家の人们にもお米の大切さを伝えたいです。

5年 ○○ ○○

田植え体験をして、初めにわく回しをさせてもらいました。3人でスピードを合わせて力を入れてわくを回さないときれいにあとがつかないので、思った以上にわく回しはむずかしかったです。

なえを植えるときに、根っこがちぎれるとなえが育たないので、根っこごと3本くらいちぎって植え

ていきました。初めはうまくちぎれなかっただけど、だんだんとうまくちぎれるようになりました。

つぎに、機械で植えるのを見て、5年生80人が手で植えるときの10倍以上の速さで植えていて、機械はすごいと思いました。昔の人は、20人くらいで1日中なえを植えていたと聞いて、自分たちは80人で40分ほどしただけでとてもつかれたのに、昔の人は機械もないのにとてもすごいなあと思いました。米作りはむずかしいことも色々あると思ったので、農家の人はすごいと思いました。

5年 ○○ ○○

体験前はドキドキしていたけど、田植えは想像もつかないくらい楽しかったです。田植えでは大変なこともありました。昔の人は、機械じゃなくて手でしていて、とても手間がかかっていたと分かりました。田植えは思ったよりもむずかしかったです。農家の人はすごいと思いました。

ぼくは、お米をのこしたりしているから、あんだけ手間がかかっているから、これからはなるべく残さず食べりたいです。

平

実際に田植えの作業を体験したからこそ書ける感想がたくさんありました。

日本の米作りは約2500年の歴史があります。子どもたちは、米作りの歴史や歩みの一端を、田植えの体験を通して体全体で学ぶことができました。5年生は、4月から、社会科や総合的な学習の時間に米作りについて学習しています。今、日本ではお米の価格がとても上がっていて、私たち消費者にとっては切実な問題ですが、どうしてこのような問題が起こっているのでしょうか？5年生の子どもたちには、そうしたことについてもしっかり目を向け、考え、学んでいってほしいと思います。

このような貴重な体験ができるのも、地域の皆様のご協力があるおかげです。山口さんをはじめ中代町営農組合の皆様本当にありがとうございました。

わんぱく相撲加賀大会

5月10日（土）、加賀市中央公園相撲場で「第37回わんぱく相撲加賀大会」が開催されました。本校からは21名の子どもたちが参加し、熱戦を繰り広げました。上位入賞者は以下の人たちです。よくがんばりましたね。すごい！

○1・2年女子の部 優勝 ○○ ○○さん

準優勝 ○○ ○○さん

○3・4年女子の部 優勝 ○○ ○○さん

○5・6年女子の部 3位 ○○ ○○さん

敢闘賞 ○○ ○○さん

○1年男子の部 優勝 ○○ ○○さん

○4年男子の部 準優勝 ○○ ○○さん 3位 ○○ ○○さん 敢闘賞 ○○ ○○さん

○6年男子の部 3位 ○○ ○○さん



優勝した3人の子どもたち